

信州大学医学部附属病院に通院中または過去に通院・入院された
患者様またはご家族の方、病院職員へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 4 月 11 日

**「異常ヘモグロビン・ヘモグロビン誘導体が自動血球分析装置で測定した白血球分類の
パラメーターに与える影響」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6475
研究課題名	異常ヘモグロビン・ヘモグロビン誘導体が自動血球分析装置で測定した白血球分類のパラメーターに与える影響
所属(診療科等)	臨床検査部
研究責任者(職名)	石嶺 南生(臨床検査部 技師長)
研究実施期間	医学部長による許可日～2026 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	自動血球分析装置から得られるパラメーターが異常ヘモグロビンやメトヘモグロビンを含む検体を測定したときにどのように変動するかを明らかにすることを目的とした研究で、診療に有益な情報を提供することが可能になると考えられます。
対象となる方	2023 年 1 月 1 日～2025 年 8 月 31 日までの期間に信州大学医学部附属病院(当院)を受診した異常ヘモグロビンまたはメトヘモグロビン血症が疑われた方および当院職員健康診断を受診した病院職員の方
利用する診療記録／検体	性別、年齢、使用薬剤、自動血球分析から得られる白血球分類の蛍光強度、異常ヘモグロビンの有無、メトヘモグロビン血症の有無、血液ガス分析で得られるメトヘモグロビン濃度/血液
研究方法	職員健康診断および異常ヘモグロビン、メトヘモグロビン血症患者の日常検査で得られた白血球分類の蛍光強度を自動血球分析装置に記録されているデータから抽出します。抽出した結果から、健常人の分布を明らかにするとともに抽出した患者データと健常人集団の分布を比較し、異常ヘモグロビンやメトヘモグロビン血症が疑われる蛍光強度のカットオフを検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	竹澤 由夏(信州大学医学部附属病院 臨床検査部) 電話: 0263-37-2800

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。